

令和3年
秋の叙勲・褒章
～受章者をご紹介します～



旭日双光章

地方自治功労

齋藤 英仁さん

蒲田地区 80歳



歌手になる夢を追いかけて東京へ出ましたが、病気で亡くなった父の跡を継ぐため、デビューが決まっていたものの、地元に戻ることを決断。その当時、周辺の村がまともでいたことを憂慮した齋藤さんは、立候補することで地域が一つになれるのならと、旧尾上町の議員選挙に立候補し当選を果たします。以降、長年にわたり議員を務め、旧尾上町民、平川市民のためにご尽力されてきました。

今回の受章について「夢にも思わなかった叙勲をただで本当に深く感謝している。現在は議員を引退しているので、これからは大好きな歌を教えていきたい。プロを負かすくらいの歌手を育てるために情熱を燃やして頑張っています。つがる市で開催する上原げんと杯では予選と準決勝の審査員長も務めます」と話されました。

藍綬褒章

社会福祉功績

大里 あささん

南田中地区 71歳



「受章の知らせを聞いて、近所のおばあちゃんが庭の菊の花で花束を手作りしてプレゼントしてくれたんです。それが本当にうれしかった」と素敵なエピソードを教えてくださいました大里さん。平成元年から民生・児童委員として地域の住民の相談や見守りなどの活動をされてきました。様々な相談が寄せられる中で、その裏には深刻な家庭状況が隠れていることもあり、いつも真剣に家庭に寄り添うように心掛けているそうです。

「今回の受章は長年の活動が認められて光栄に思います。これからも初心を忘れずに地域に密着した活動を続けていきたいです」と話されました。

旭日双光章

建築設計監理業振興功労

浅利 勉さん

本町地区 72歳



大学を卒業後、東京の会社での勤務を経て、30歳で当時の平賀町に建築設計事務所を設立しました。同時期、(一社)青森県建築士会に入会し、30年以上理事を務められ、現在は副会長の職に就かれています。

「農業関係の施設(りんご)や保育所、集会施設、老人施設、学校施設などの地元で根差す施設の設計に力を入れてきました。事務所のスタッフや関係者の皆さんのおかげでここまでやってこれたことが、評価されたと思っています。近年は地元雇用に関連する半導体関連の工場の設計などの新しいことにも取り組んでいます。これからも地元の仕事に注力していきたいと思っています。」と話されました。

瑞宝単光章

消防功労

小山内 勝廣さん

大光寺地区 71歳



消防団に入団し38年、消防団の団長として3年4カ月務められました。

「消防団操法大会に出場するため、朝早くから集まり訓練に皆と取り組んだことがとても印象に残っている。消防団の訓練はつらく、朝早くと晩の遅い時間に何カ月も訓練を行った。大会に出場したいという私の思いに、皆がついてきてくれたことがとてもうれしい。今まで消防団員として当たり前のことをやってきた。団長として皆をまとめていく立場ではあったが、皆がついてきてくれて感謝している。引退し消防団の立場を離れても、一市民として、初心を忘れずに市の消防防災に協力していきたい」と話されました。

藍綬褒章

消防功績

須々田 唯志さん

本町地区 64歳



昭和61年に消防団に入団し、平成29年からは副団長を務められ、今年で5年目となります。

「消防団に入団したばかりの20代のころ、春の火災が多かった。その時、ついて回った先輩から火事現場で怪我や事故がないよう任務を遂行するよう指導を受けたことを今でも覚えています。また、先輩や後輩、よい仲間にも恵まれ、家族の理解もあったことが、35年間消防団員として長続きできた理由だと思います。今年に入って住宅火災などがありましたが、市民の安全安心を守るため、初心を忘れずに今後も任務に取り組めます」と話されました。